

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	素描	2	2	デザイン	必修	スーパー鉛筆デザイン (グラフィック社)

1. 学習の到達目標

素描では、造形表現の基礎となる形体や空間などを把握させ、的確な観察力を養い、表現と鑑賞の能力を高めることを目的としています。デザイン科2年次の内容としては、生徒の興味・関心、進路希望等に応じてモチーフやその内容の重点化を図るなど、弾力的に取り扱うことにしています。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価の規準	課題の趣旨に関心を持ち、早く丁寧な作業ができるように意欲的に取り組むことができる。	課題の提示から提出まで制作過程を計画的な判断のもと取り組むことができる。	道具の正しい使い方を理解し、表現に合わせて適度に応用しながら使用することができる。	課題の条件を正確に理解して制作し、合評会において学習した知識を生かすことができる。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、課題などの提出物の状況などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

素描（2年）では、まず世の中にあるものの基礎となる形体や空間などを把握し、さらに的確な観察力を養って、表現と鑑賞の能力を高めることを目的としています。デザインの表現においても、他をよく知れば（観察すれば）自分の表現にも役立つはずですので、しっかり取り組んで自分の表現力を伸ばして欲しいと思います。

2年 素描 年間指導計画表

単位数（2単位） 教科書：スーパーの鉛筆デッサン(グラフィック社)

目標	造形表現の基礎となる形態や空間などを把握させ、的確な観察力を養い、表現と干渉の能力を高める。		
月	大項目	中項目	時数
4	オリエンテーション 着彩 モチーフの質感を意識した基礎表現	評価基準や年間計画について	1
5		・紙風船の着彩 1. 段ボール箱とロープ	2 7
		2. 合評	2
6	組みモチーフ（基礎）	1. 複数の質感の違う人工物の表現	10
7		2. 合評	2
9	想定デッサン	1. 人体（手）と紙テープ	13
10		2. 合評	2
11	組みモチーフ（応用）	1. 複数の色合いの違う人工物の表現	12
12		2. 合評	2
1	石膏デッサン	1. 頭像（ラポルト・青年マルス）	13
2		2. 中間合評	1
3		3. 合評	2